

本事業に取り組むエリア(自治体名)		北海道紋別市
本事業の実施主体		紋別市福祉サービス事業者連絡会
本事業に参画する団体名		紋別市福祉サービス事業者連絡会
地域の状況	①人口	約2万人
	②地域の特徴	紋別市はオホーツク海沿岸のほぼ中央に位置し、総面積は 830.70 km ² と広大な市域を有している。市域の約8割が森林地帯を占め、海岸線は28kmに及び、海・山・川に囲まれた雄大で美しい自然環境・景観を誇っている。気候は冷涼で特に冬期は流水到来もあり寒冷となる。大雪や暴風雪・積雪による交通障害に見舞われることも多い。基幹産業は漁業・農業。
	③災害等の歴史	暴風雪・大雪による交通遮断や停電等に数年に一度の頻度で見舞われる。オホーツク海沿岸ではあるが、津波による人的被害はない。主たる災害は2018年9月の胆振東部地震によるブラックアウトと2022年12月の暴風雪による市内全域の停電を経験した。
	④在宅医療ケア資源と病院等との連携	この地域では訪問診療や往診を積極的に行う病院や診療所はなく在宅看取りは難しい状況にある。ケア資源は居宅介護支援事業所、訪問看護、訪問介護、通所介護、介護施設、GH、(看)小規模多機能等があり、ケア資源は比較的充実している。しかし人材不足により、必要なサービス提供が困難な状況がみられている。病院等との連携では連絡手段は電話やFAX・書面による連絡が主であり、ICTの整備はされていない。2023年2月より一か所のクリニックと訪問看護ステーション間で連携ツール(MCS)による情報共有を開始。同業種間の連絡や情報共有はラインも使用している。コロナ禍以前は保健・医療・福祉連携推進会議や基幹病院と訪問看護ステーションの定期会議等にて情報共有や課題検討等を行っていたが現在は行っていない。同業種間の連携は任意団体の組織を作り行っている。
	⑤その他特記事項	
地域の課題	①これまでの被災経験・コロナ対応で特筆すべきこと	自地域は暴風雪による交通遮断や停電が数年に一度の頻度で見られる。2022年末は雪害による停電が発生し、二日間被災した。停電による固定電話や回線によっては携帯電話、インターネットが繋がらない等の通信障害がみられた。
	②連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由	上記被災経験の他、昨年末の停電では災害情報の収集や利用者の安否の確認が困難となり、各事業所では手探りで情報の収集や安否確認を余儀なくされた。電話が繋がらない利用者宅へは直接訪問し安否確認を行ったが、複数の事業所で同じ利用者に安否確認を行った例もあった。避難所情報の周知は広報車を使い行っているが、冬期間は窓を閉め切ったため聞こえず避難所開設を知らない人も多くみられた。又、要介護者が避難所に行った際に介護する人がいないので困ると言われたケースもあった。これらことや被災経験から、有事の際は各事業所の役割を果たすだけでなく地域のサービス事業者と行政等が協力できる体制づくりが必要と考えた。
	③わが地域のBCP観点からの課題	暴風雪による停電や交通障害が多く広大な市域を有する自地域においては、利用者の安否確認は困難を極める。各事業所それぞれが安否確認を行うことは、受ける側の負担だけでなく生命に直結する問題を抱える利用者への対応の遅れにもつながる。又、通信障害がある場合は訪問し安否確認することも予測されるが、正確な情報や判断の中で行動しなければ二次災害のリスクも高まる。災害時の情報集約、発信、共有方法の仕組みづくり、各事業者の安全を確保しながらも効率的な安否確認、そして必要な支援につながる体制づくりが求められる。又、停電が多く広大な市域を有する地域の特徴をふまえた安否確認方法の確立や支援体制づくりが必要である。また自地域の避難所では介護が必要な方の受け入れが困難な状況がみられる。要請があれば介護支援が可能な事業所もあるが、仕組み、制度、人的な責任や報酬の問題など実現には困難な点も多い。又、冬期間は氷点下まで冷え込むことも多く、真冬の停電時には避難所の必要性が高まることも予測される。避難所においても必要な医療・介護が切れ目なく受けられるよう、行政とともに避難所での介護体制づくりや保障の検討などが必要であると考えます。
	④その他特記事項	
取り組み内容と目標	今年度のプラン	1) 行政への協働依頼 ・議会において医療介護におけるBCPの質問がなされるなど、BCPへの関心が高まってきている。8月中には紋別市保健福祉部に出向き、地域BCPへの協働を依頼する。 2) 研修会の実施 ・サービス事業者と行政を集め、連携型BCP・地域BCPの研修会を実施し、課題を共有する。 3) 有事における役割分担の明確化 ・医療が必要な方の避難所、介護が必要な方の避難所の整備と、それぞれに応じた専門職の配置、医療との連携等、役割分担を明確にしていく。 4) 地域BCPに関する冊子配布 ・年度末には有事に知っておくべき連絡先一覧や、物品の保管場所と貸し出し条件、そして連携方法を明記した冊子を作成し各事業所へ配布する。